

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	故郷 : 短歌
Author(s)	横山, 隼夫
Citation	龍南, 254 : 53 - 53
Issue date	1944-06-15
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/8570
Right	

故郷

文二ノ三 横山隼夫

學徒出陣

廿年のわれの生命を育みし祖國よわれの屍越えゆけ
たまゆらの生命なりとも度ましく此の大御代に生きてし行かむ
願はくば戰の庭に立つ日にも常心にて銃を執りなむ

故郷

筑前の嘉麻の郡はその昔億良來にけり憂抱きて
わが故郷のこゝしき山邊川邊見て涙しにけむ山上億良は
遠賀川の黒き流を橋の上よりしばし見下ろして歸り來にけり

折々に

棒を持ちて往還走る少年の素足に白き土埃立つ
雪晴れのすがしき朝のつから心は遠き山脈に寄る
伊倉まで一里あまりと答へたる少女の頬は赤かりにけり